

# 道徳部報

令和 5年12月15日  
浜松市教育研究会道徳部発行  
第3回研修会の報告

令和5年度の全3回の研修が終了しました。研修会への御参加、ありがとうございました。

今回の道徳部報では、第3回の研修会における指導講評の内容を御報告します。今後の授業実践に、少しでも役立てていただければ幸いです。来年度の研修会でも、皆さんの御協力をよろしくお願いいたします。



## 今年度の研究目標

「自分らしさを大切にし、ともによりよく生きる子供を育む道徳教育  
～考え、議論する 道徳科の授業 を核に～」

第1ブロック 花川小学校 神谷 寛子先生（3年生）

主題名 かくさず正直に A 正直、誠実

教材名 「まどガラスと魚」

指導講評では、多面的・多角的に考える授業づくりについて御指導いただいた。立場を変えて多面的に考えさせることで、考えを広げ、深めていくことができる。また、教師が指導や学習の形を多様化することで、児童のゴールへの向かい方も多様になると考えられるので、児童の発想を広げることには力を注ぐことが大切である。

第2ブロック 笠井中学校 内山 結女美先生（3年生）

主題名 なぜきまりを守るのか C 遵法精神、公德心

教材名 「二通の手紙」

指導講評では、多面的・多角的に考えることの意味、道徳性の諸様相、個別最適化について御指導いただいた。授業づくりにおいては、「道徳的判断力・道徳的心情・道徳の実践意欲と態度」の何を育てたいのかを意識することが大切である。また、生徒の考えを広げるために、XYチャートやPMIシート等の思考ツールを活用すると、それぞれの立場から考えやすくなり、多面的・多角的な思考へと繋げることができる。

第3ブロック 浜名中学校 大乘 聖矢先生（2年生）

主題名 夢に向かって A 希望と勇気、克己と強い意志

教材名 「夢の力」

指導講評では、多面的・多角的に考える授業づくりや、生徒たちが主体的に学び、考えを深める手立てについて御指導いただいた。立場を変えて多面的に考えさせたり、いくつかの道徳的価値と関連付けて多角的に捉えさせたりしながら考えを広げ深めていく。また、深い学びに向かわせるために、生徒の言葉で考えをつなげ、教師が一緒に考える姿勢を大切にし、明確な意図をもとにファシリテートすることが大切である。

第4ブロック 引佐南部中学校 黒柳 奈那先生（3年生）

主題名 他者と関わって生きていくとは B 相互理解、寛容

教材名 「ソーシャル・ビュー ～見えない人と楽しむ美術鑑賞～」

指導講評では、「相互理解、寛容」の内容指導項目において、相互に尊重することが自分の人生にとってどのような価値をもつのか考えさせることが大切であると御指導いただいた。子どもに課題意識をもたせるために、アンケートを活用することは有効である。リアルタイムでアンケートをとる方法もある。教師は、発問を厳選しなくてはならない。班での話し合いが続かない場合には、「一つ選ぶなら？」などと、あえて負荷をかけるなどの工夫が必要である。